

作成日：2022年9月30日

倫理規定

当社は、あらゆるバックグラウンドや特性をもつ人が歓迎される社会を目指しています。倫理規定を制定し共有することで、当社と関わる一人一人が基本的人権を尊重し合い、多様性、公平性を大切にすることが広がっていくことを期待しています。また私たち自身は、プロフェッショナルとして顧客と社会に価値を提供し続けると同時に、当倫理規定を指針とすることでより広い視野を持ち、社会に対してさらに大きなインパクトを与えるしなやかで強いチームとなれるよう努力してまいります。

1. 多様性に対する基本的な考え方

当社は、あらゆるバックグラウンドや特性を持つ人々を歓迎します。下記とはじめとする、あらゆる要素によって不当に不利益を与えることおよび被ることを許容しません。

- a. 人種
- b. 国籍
- c. 性別・ジェンダー自認およびその表現
- d. 家柄・社会的または経済的階級
- e. 学歴
- f. 病気・病歴
- g. 精神的・肉体的な障がい
- h. 年齢
- i. 政治的指向
- j. 宗教

2. 多様性への配慮

多様性を歓迎する環境を守るために、以下の行動に特に配慮してください。

- a. 性別やジェンダーに関して、揶揄したり圧力をかけたりする冗談やコメントを言うこと、セクシャル・ハラスメントにあたる言動をとることは許容しません。
- b. 人種、ジェンダー表現、病気、障がい等に関して、外見を揶揄したり画一的な価値観を前提とした冗談やコメントを言ったりすることは許容しません。
- c. 多様な価値観・考え方を尊重するため、意見を述べる際は大きな主語（日本人は、普通は、みんなは）ではなく、小さな主語（私は）を使うことを推奨します。

- d. コミュニケーションにおいて、その内容が正しく理解されているどうかは、受け取り側に任せず、発信側が配慮してください。専門用語を多用しない、文脈に頼って言葉を省略しないといった基本的なリテラシーの修得に加え、母国語が異なる相手に対しては簡潔な表現でゆっくり伝える、文字や翻訳機能を使って捕捉をするなどの工夫を推奨します。
 - e. 時間は、一人一人に自由にその使い道を決める権利があります。約束の時間は厳守し、会議中はその場に集中して、他者の時間を尊重してください。
3. 倫理的な情報発信・マーケティングに関する基本的な考え方
- a. 虚偽や誤解を招くような表現は避け、正しい情報を可能な限りまとめて提供します。参照元や懸念点を明記するなど、情報の透明性確保を大切にします。
 - b. 顧客やオーディエンスが主体的にニーズにあった情報にアクセスできるよう、また自らの意思に反して情報にアクセスしたり情報を提供したりしないよう、最適な導線とパーミッションを設計します。
 - c. 身体的・経済的特徴など、特定の要件をもつ個人やグループに対して不当にラベリングをしたり差別を助長したりするような表現は許容しません。
 - d. 文字の大きさ、配色、文法、音量、字幕など、媒体や状況において取りうる最適な方法でアクセシビリティに配慮します。
 - e. 個人が撮影した子どもの写真や映像を利用する際には、本人および保護者の使用許諾が必要です。顧客組織が、情報発信・マーケティングでそのような写真や映像使う場合は、顧客組織が使用許諾をとるように進言します。
 - f. 情報発信、マーケティングの中で収集する顧客およびオーディエンスのデータは社内規定に従って適切に取り扱います。
4. 健全な経営に関する基本的な考え方
- a. 国内法令に加え、必要があれば各国関連法令および国際規範についても理解し、各々自身の関係する業務が法令を遵守していることを確認のうえ、公正な企業活動を行います。
 - b. 機密情報、個人情報を含む会社の資産およびデータについては、契約書および社内規定に従い、一人一人が責任を持って管理します。
 - c. 贈収賄、マネーロンダリング、横領など、いかなる形の腐敗・不正行為も許容しません。
 - d. 会社と利益が相反する可能性がある場合は、直ちに会社に報告し、利害の対立を回避するための適切な対応を講じます。また取引先選定や採用等は、社内規定およびガイドラインに従い公正に行います。
5. 苦情・相談・通報窓口

差別的な言動や不正行為に遭遇した際は、苦情・相談フォーム

(<https://forms.gle/h8nVsTirPosBnk1z5>) から知らせてください。通報は匿名でも可能です。

通報内容は必ず役員会で共有し、不適切な行為をなくすために専門家への相談、対策室の設置を含む必要な対応を検討します。

(参考) コアバリュー

- ① プロフェッショナルとして成果にこだわる
 - 顧客のミッションに真摯に向き合い、その実行を最優先に考える
 - 常に誠実に行動し、顧客の信頼に応える
 - 顧客組織に、自立的かつ継続的な発展を支える仕組みを構築する
- ② ポジティブな環境をつくる
 - 誰もが自身の考えやアイデアを自由に発言し、実現に向けて具体的に行動する
 - 周囲に良い影響を与える言葉づかい、ふるまいをする
 - 周囲に気を配り、貢献できるポイントを自ら見つけ、率先して実行する
- ③ 共感と論理性を両立する
 - 顧客やステークホルダーが大切にしている価値に寄り添い、尊重する
 - 自身の心の動きを冷静に見つめ、論理性をもって状況を把握する
 - 共感の連鎖が生み出す価値を理解し、その価値を最大化するために思考する
- ④ 最高の自分を更新する
 - 自身の価値観、考え方、常識を健全に疑い、枠を超えて発想する
 - 新しいチャレンジや学びを楽しみ、遊び心を大切にする
 - 新しく得た知識と経験は、組織内外に共有して価値を最大化する
- ⑤ 志と覚悟を持つ
 - 想いのこもったお金を扱う責任を自覚し、常に自身にできる最善を尽くす
 - この志事を選んだときの気持ちを忘れず、日々の指針とする
 - 外に目を向け、社会に変化を生み出す個人であり続ける